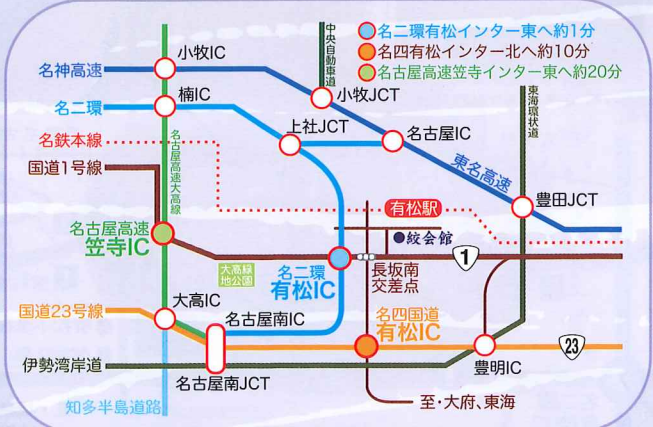
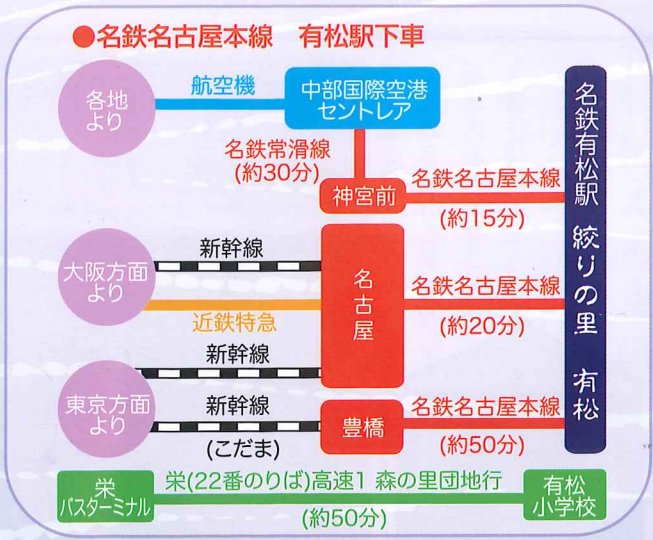


伝統の技が今に息づく

有松・鳴海

重要無形文化財記録保存指定
経済産業大臣指定伝統的工芸品



有松・鳴海絞会館

この地独特の絞り文化の保存と発展のために建てられ、2階には歴史的、工業的にも価値のある製品や資料の展示、実演など、また1階では、数多くの絞り製品の展示販売が行われ、幅広く絞りを紹介しております。

- 開館時間 ■午前9時30分～午後5時
(実演は4時30分まで)
- 休館日 ■12月～3月末まで水曜休館
(但し、祝祭日が重なる場合は翌日休館)
- 4月～11月末まで無休営業
(但し、絞りまつりの前後3日間と
年末年始は休館)
- 絞りの体験実習もできます。【要予約】



有松絞商工協同組合 〒458-0924 愛知県名古屋市緑区有松3008番地
TEL (052)621-0111 FAX (052)621-6051
E-mail info@shibori-kaikan.com

絞会館ホームページアドレス <http://www.shibori-kaikan.com/>



ARIMATU NARUMI SHIBORI

有松・鳴海 絞

絞りの町有松は、江戸時代のはじめ、徳川家康が江戸に幕府を開いてまもない慶長13年(1608年)に、絞開祖竹田庄九郎らによって誕生しました。有松絞り400年の歴史は、尾張藩が有松絞りを藩の特産品として保護し、竹田庄九郎を御用商人に取立てたことからはじまりました。

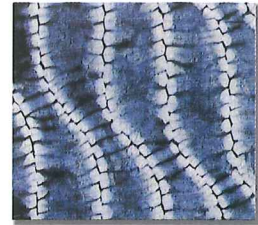
旅人が故郷への土産にと、きそって絞りの手拭、浴衣などを買い求め、これが街道一の名産品となり、その繁盛ぶりは、北斎や広重の浮世絵に画かれたが、鳴海の宿は有松を画いたもので、“名物有松絞”と記してあります。

昔の繁栄と日本建築の美しさを今に伝える家並みは、200年を経過した貴重な文化財です。その景観は、名古屋市のみ保存指定第1号として、また全国町並み保存連盟の発祥地としても知られています。

伝統の絞り技法は、100種にも及び、有松・鳴海絞りは日本の絞り生産地のうち、約90%以上をも占めています。400年の創意と工夫が国内はもとより、世界でも最高の技術を現代まで受け継がれたゆえんであります。

Arimatsu originated from a village settled in 1608 along the Tokaido Highway from Tokyo (then called Edo) to Kyoto. People in the village were all engaged in some way or another in the production of tie-dyed cotton cloth (called "shibori") and sold white-spotted towels to travelers coming and going along the road. The technique of tie-dying cloth has since been inherited and is well known as one of Japan's oldest forms of industry. Arimatsu tie-dyed fabrics, all products of handcraft, are rich beyond comparison in the variety of tie-dying patterns. There are more than 100 patterns, with "Kanoko" and "Miura" among them. Tie-dyed cloth made by cottage industry workers count between 50,000 and 200,000 for one pattern of "Kimono". It therefore takes between 4 and 6 months to complete, the tie-dyed cloth for one "Kimono". The technique itself requires such a skilled experienced person that 3 full years are required for fundamental training. Among the experts are those who have continued the practice for more than 60 years. Since Arimatsu devoted itself to the production of the tie-dyed fabrics, 400 years ago, most houses engaged in the home industry still stand intact today along the old highway. This resulted in a community of commercial houses which hold a special place in the history of Japanese architecture.

受け継がれた匠の技



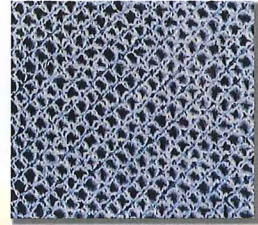
縫
絞り



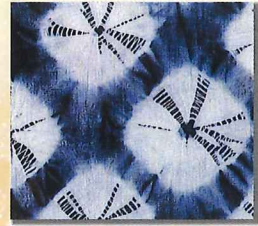
巻上
絞り



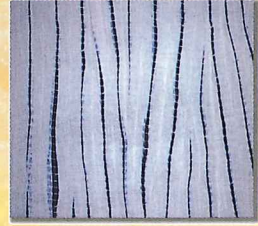
鹿の子
絞り



三浦
絞り



蜘蛛
絞り

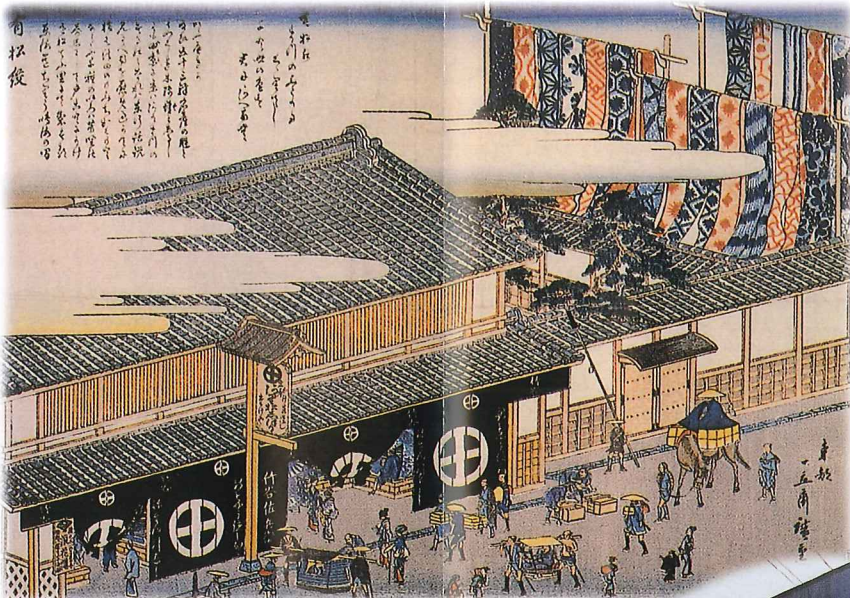


柳
絞り

今に伝える東海道随一の美観

ここは「日本の美しさ」が息づいています。

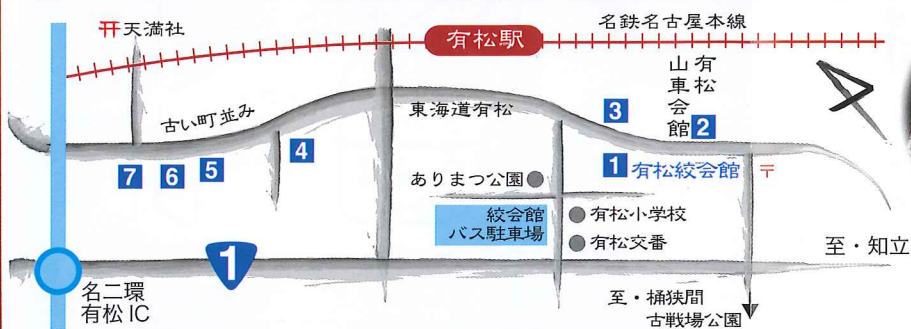
有松の町は、古今の美観と文化が集約された処です。毎年六月に開催される「有松絞りまつり」は伝統の美と技を開化させ、当時をそのままに残す。絞り商家の家並みは日本建築の美を競います。



有松絞



7 西町山車庫 都市景観重要建築物



▲「有松絞りまつり」
毎年6月第一土・日曜日に開催される



4 竹田邸 名古屋市指定文化財 都市景観重要建築物



3 服部邸 愛知県指定文化財 都市景観重要建築物



2 有松山車会館



6 小塚邸 名古屋市指定文化財 都市景観重要建築物



5 岡邸 名古屋市指定文化財 都市景観重要建築物



1 有松・鳴海絞会館 売場



1 絞会館2階 絞り実演・資料館

熟練された手仕事で
すべての工程が進められる

三浦絞り



型彫り



絵刷り



絞り加工(筋絞り)

有松絞りの特色

手工芸品 絞りはすべて手仕事です。一粒一粒を丹念に括りあげます。同じ柄を作っても絞る人の力加減と染色の微妙な差が生まれます。また、絞りは立体的な模様を画きます。その生地は、肌に密着することなく、独特の風合があります。

分業制度 絞り製品は、図案から型彫り、絵刷り、絞り加工、染色、糸抜き、仕上げまで、すべて専門職の手を経て分業で行われます。

加工種類 400年の間に創意、工夫された加工の手法は、鹿の子、三浦、くも絞りなど、100種類にも及びます。

染色 藍染(草木染)から始まり、現在の化学染料による染色まで伝統の技法を受け継いでいます。

絞りの工程

柄(図案)の決定

型彫り

絵刷り

絞り加工

染色

糸抜き

仕上げ

図案に合わせて型紙に彫る

生地に青花で絵を刷る

分業された括り職人にて加工する

専門の染屋によって各種の染色が行なわれる

括った糸をとく工程

手湯のしにて製品に仕上げる



染色



糸抜き

絞り技法の種類

縫 絞 り 縫空目、唐松縫、つまみ縫、合わせ縫、日の出、ひしゃぎ縫、白影縫、ミシン縫、等

巻 上 絞 り 小帽子、蛇の目巻上、つまみ巻上、根巻、芯入れ帽子、等

鹿の子絞り 横引、京極、本疋田、突出し、羅旋、人目、等

板締め絞り 豆絞り、雪花、等

桶 絞 り

三 浦 絞 り 平三浦(横三浦)、石垣三浦、やたら三浦、疋田三浦、筋三浦、等

蜘蛛絞り 手ぐも、手ぐも根巻、蛇の目、やたらぐも、手廻しぐも、等

筋 絞 り 手筋、くも入り柳、鎧段、山道、山周筋、みどり、等

嵐 絞 り 網、チリ、空目、等

そ の 他 むら雲、箱染、追東風染、大典、等